

教育研究の広場



国際セミナー「津波とサンゴ礁」を開催

理系複合棟の202講義室にて、10月17日に国際セミナー「津波とサンゴ礁」が開催された。当セミナーは津波がサンゴ礁へ及ぼす影響についての研究を発表するものであり、インドの海洋研究所で研究するJ.K. Patterson Edward博士は、「マナール湾（南東インド）における最近のインド洋津波の珊瑚礁生態系への打撃」をテーマに講演を行い、「2004年に発生したインド洋大津波がマナール湾のサンゴ礁に及ぼした影響は、結果的に見て、陸上における被害に比べてそれほど甚大なものではなく、サンゴ礁は津波に対して強い耐性をもつ」と報告した。



セミナーの様子

その後、本学理学部の中村衛助手から「1771年八重山地震津波」について、松本剛教授から「津波災害評価と軽減-熱帯・亜熱帯海岸域でのケーススタディ」について、山口正士教授から「海岸防災と沿岸水産資源の保全における海岸林の役割」についてそれぞれ研究発表があった。